

授業科目	看護学特論				単位	1		
履修	選択	関連資格			ナンバリング	NU31409J		
開講年次	4	開講時期	後期	該当DP	DP3-1 DP4-3			
担当教員	大嶋 満須美、石井 美紀代、高橋 甲枝、前田 由紀子、樋口 由貴子、溝部 昌子、金山 正子、杉浦 絹子							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>看護は社会と生活者として暮らしている人々の健康に大きく関与する学問領域である。社会環境の変化によって大きく変わっていく看護ニーズをそれぞれの看護学領域を超えて解説し、現在の課題とこれからの看護の展望について投げかけ、考察をしていく。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1. 看護の現状について説明できる。(DP3-1)</p> <p>2. 各領域が求めている看護ニーズについて述べる事ができる。(DP3-1)</p> <p>3. 社会の変化における看護の役割と責務について述べる事ができる。(DP4-3)</p> <p>4. 看護の将来展望について述べる事ができる。(DP3-1)(DP4-3)</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	70	30	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)		70	10				80	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)			20				20	
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
目標の内容を総合的に理解し、各看護領域を超えた社会における看護の現状を把握し、現在の課題と将来を見据えた看護の展望について述べる事ができる。				目標の内容を総合的に理解し、看護の専門性と領域における課題について 70~80%は述べる事ができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	テーマ:看護学領域 ・看護ニーズと看護の展望 (大嶋)			・シラバスについて 説明 ・講義		学習課題(予習・復習)		60

2	テーマ:小児看護学領域 ・小児医療の現状と課題 ・これからの小児看護を考える (樋口)	講義、確認小テスト	学習課題(予習・復習)	60
3	テーマ:母性看護学領域 ・今日の社会状況下において母性看護学分野に求められる看護ニーズと課題並びに今後の展望 (杉浦)	講義、 課題レポート	学習課題(予習・復習)	60
4	テーマ:成人看護学領域 急性期の看護 ・急性期の患者の特徴と看護 ・急性期看護の課題 (高橋)	講義 課題レポート	学習課題(予習・復習)	60
5	テーマ:老年看護学領域 ・高齢者の健康づくりと運動 栄養・エネルギー代謝、神経・感覚器 筋・骨格、運動と呼吸循環 末梢閉塞性動脈疾患・慢性腎不全と運動 (溝部)	講義、振り返りレポ ート	学習課題(予習・復習) 予習:高齢者の活動耐性に関する教科書、プリントを持参して下さい。 復習:Web フォームで理解度確認テストを実施します。復習して下さい。	60分
6	テーマ:精神看護学領域 ・精神科救急とトピックス ・精神科ファーストエイドと最近のトピックスについて (前田)	講義、確認小テスト	学習課題(予習・復習)	60
7	テーマ:在宅看護学領域 ・国の「医療と介護の一体的な改革」で在宅医療・介護がどう変わるのか、在宅看護のあり方 (石井)	講義、グループディスカッション・ 確認小テスト	予習:国の医療政策の方針について調べておく 復習:講義を踏まえて自己の看護観をまとめる	予習: 60 復習:30
8	テーマ:看護実践と倫理 (金山)	・講義 ・グループディスカ ッション ・確認小テスト	学習課題(予習・復習)	60
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	これまで学んだ、専門教育科目を基盤に看護実践の統合を目指します。既習の学びを想起し、主体的に取り組む姿勢で臨んでください。			
テキスト	特に指定はありません。これまで学んだテキストを参考にしてください。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	担当教員より参考図書等の紹介が随時あります。 講義では、資料プリントを配布します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	4年生後期の選択科目です。各看護領域の現状を知り将来を展望することにより看護の実践者として、自己研鑽することを期待します。 基盤となる基礎的な知識だけでなく、健康に関する社会の現状と課題について学ぶことにより看護が深まります。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	毎回、領域毎に小テスト、あるいは課題レポートによる評価を行います(70点)。担当教員の指示を仰いでください。最終の定期テストはレポートによる全体評価(30点)を行います。評価レポートの課題については、最終回に伝えます。課題達成については成績発表後に評価点分布図を提示します。			

